

独立行政法人日本学術振興会契約監視委員会（第22回） 議事概要

1. 日 時：令和2年4月20日（月）～4月24日（金）

【電子会議】

2. 出席者：小長谷委員長、西島委員、小島委員、清水委員、洞田委員

3. 事務局：高木総務部長、河津会計課長、田保橋情報企画課長、瀬川契約・経理室長、
粒來監査・研究公正室長他

4. 議 事

- (1) 委員長及び委員長代理の選出について
- (2) 契約監視委員会（第21回）議事概要について
- (3) 令和元年度契約の事後点検について
- (4) 令和元年度達等合理化計画の自己評価の点検について
- (5) その他

5. 主な議事概要

電子的に会議を実施し、以下について審議を行った。

- (1) 委員長及び委員長代理の選出について

契約監視委員会規程第3条第5項に基づき、小長谷委員を委員長、西島委員を委員長代理に選出した。

- (2) 契約監視委員会（第21回）議事概要について

案の通り承認された。

- (3) 令和元年度契約の事後点検について

事務局の説明資料により、資料3-1、3-2については一者応札になった案件に係る理由等が説明され、資料3-3については随意契約を締結した理由等が説明された。また、資料3-4については、2年連続で一者応札となった理由と今後の措置等が説明された。

委員からは、一者応札改善の取組について、引き続き努力が必要である一方で、限界点や最適化のポイントも考慮する必要があるのではないかとの意見があった。

また、2年連続の一者応札については、業務の分割、複数年契約の可否等を含め、継続して検討を行う必要があるとの意見があった。

- (4) 令和元年度調達等合理化計画の自己評価の点検について

事務局より資料4について説明があり、委員会より以下のとおり評定が付与された。

- 一者応札・応募改善にかかる取組：自己評価 B 委員会 B
- 契約方法等の見直しによる経費節減及び業務の効率化の推進：自己評価 B 委員会 B

- 随意契約に関する内部統制の確立:自己評価B 委員会B
- 不祥事の発生の未然防止のための取組 :自己評価B 委員会B
- 適切な予定価格の設定について:自己評価B 委員会B
以上